

## 『乙種1・2・3・5・6類 危険物取扱者試験 令和3年版』 に関するお詫びと訂正のご案内

『乙種1・2・3・5・6類 危険物取扱者試験 令和3年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

よろしくお願い申し上げます。

### 初 版

P64 “2. 過酸化ナトリウム” 表中	誤	形状 ■ 白色または淡黄色の粉末。
	正	形状 ■ 白色または淡黄色の粉末、または六方晶系の結晶
P105	誤	【7】 次の各火災事例におけるアルミニウム粉の火災予防対策について、次のA～Eの組み合わせのうち、正しいもののみをすべて掲げているものはどれか。
	正	【7】 次の各火災事例におけるアルミニウム粉の火災予防対策について、次のA～Dの組み合わせのうち、正しいもののみをすべて掲げているものはどれか。
P111	誤	【2】 解答「2」 2. 棒状の水を大量に放射して、冷却消火するのが最も適切である。なお、硫黄Sは融点が低いため、液状のものは土砂等を用いて流動を防ぐ。 4. 高膨脹泡消火剤は、主に石油系の火災に使用され、窒息効果・冷却効果が得られる。
	正	【2】 解答「4」 2. 硫黄Sは融点が低く、流動しやすい。飛散を防ぐため棒状放水は使用せず、噴霧状にして放水する。 3. 硫黄Sの消火には、炭酸水素塩類を使用する粉末消火剤は適応しない。 4. 硫黄Sの消火には、水、泡、強化液等が適応する。
P144 表中 “硫黄” 性質	誤	★燃焼で青色の炎をあげ、有毒な二硫化硫黄を発生
	正	★燃焼で青色の炎をあげ、有毒な二酸化硫黄を発生
P194 表中 “黄リン” 性質	誤	★比重1以下の不快臭のある白色、及び淡黄色のロウ状液体
	正	★比重1以上の不快臭のある白色、及び淡黄色のロウ状固体

P250 硝酸 Guanizhin 表中	誤	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">硫酸 Guanizhin</td> <td>水</td> <td>○</td> <td rowspan="4">容器を密栓</td> <td rowspan="4">           ★毒性がある、無色または白色の結晶            ★融点は <b>215℃</b>程度            ★<b>水、アルコールに溶ける</b>            ★急激な加熱及び衝撃で爆発するおそれがある            ★可燃性物質と混触すると発火するおそれがある         </td> </tr> <tr> <td>二</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>八</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>粉</td> <td>×</td> </tr> </table>	硫酸 Guanizhin	水	○	容器を密栓	★毒性がある、無色または白色の結晶 ★融点は <b>215℃</b> 程度 ★ <b>水、アルコールに溶ける</b> ★急激な加熱及び衝撃で爆発するおそれがある ★可燃性物質と混触すると発火するおそれがある	二	×	八	×	粉	×
	硫酸 Guanizhin	水		○	容器を密栓			★毒性がある、無色または白色の結晶 ★融点は <b>215℃</b> 程度 ★ <b>水、アルコールに溶ける</b> ★急激な加熱及び衝撃で爆発するおそれがある ★可燃性物質と混触すると発火するおそれがある					
二		×											
八		×											
粉		×											
正	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">硝酸 Guanizhin</td> <td>水</td> <td>○</td> <td rowspan="4">容器を密栓</td> <td rowspan="4">           ★毒性がある、無色または白色の結晶            ★融点は <b>215℃</b>程度            ★<b>水、アルコールに溶ける</b>            ★急激な加熱及び衝撃で爆発するおそれがある            ★可燃性物質と混触すると発火するおそれがある         </td> </tr> <tr> <td>二</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>八</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>粉</td> <td>×</td> </tr> </table>	硝酸 Guanizhin	水	○	容器を密栓	★毒性がある、無色または白色の結晶 ★融点は <b>215℃</b> 程度 ★ <b>水、アルコールに溶ける</b> ★急激な加熱及び衝撃で爆発するおそれがある ★可燃性物質と混触すると発火するおそれがある	二	×	八	×	粉	×	
硝酸 Guanizhin	水		○	容器を密栓			★毒性がある、無色または白色の結晶 ★融点は <b>215℃</b> 程度 ★ <b>水、アルコールに溶ける</b> ★急激な加熱及び衝撃で爆発するおそれがある ★可燃性物質と混触すると発火するおそれがある						
	二		×										
	八		×										
	粉	×											

P263 4 過塩素酸 表中	誤	<table border="1"> <tr> <td>危険性</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>重金属およびその塩類、還元性物質、アルカリ性物質や酸化されやすい有機物と混触すると、分解し酸素ガスを発生し発熱する。</li> </ul> </td> </tr> </table>	危険性	<ul style="list-style-type: none"> <li>重金属およびその塩類、還元性物質、アルカリ性物質や酸化されやすい有機物と混触すると、分解し酸素ガスを発生し発熱する。</li> </ul>
	危険性	<ul style="list-style-type: none"> <li>重金属およびその塩類、還元性物質、アルカリ性物質や酸化されやすい有機物と混触すると、分解し酸素ガスを発生し発熱する。</li> </ul>		
正	<table border="1"> <tr> <td>危険性</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>重金属およびその塩類、還元性物質、アルカリ性物質や酸化されやすい有機物と混触すると、分解して<b>引火性、爆発性を伴う気体(水素)</b>を発生する。</li> </ul> </td> </tr> </table>	危険性	<ul style="list-style-type: none"> <li>重金属およびその塩類、還元性物質、アルカリ性物質や酸化されやすい有機物と混触すると、分解して<b>引火性、爆発性を伴う気体(水素)</b>を発生する。</li> </ul>	
危険性	<ul style="list-style-type: none"> <li>重金属およびその塩類、還元性物質、アルカリ性物質や酸化されやすい有機物と混触すると、分解して<b>引火性、爆発性を伴う気体(水素)</b>を発生する。</li> </ul>			

P269	誤	<p>【5】 過酸化水素の性状等について、次のうち正しいものはどれか。</p> <p>2. 加熱すると発火する。</p>
	正	<p>【5】 過酸化水素の性状等について、次のうち正しいものはどれか。</p> <p>2. <b>加熱しても発火のおそれはない。</b></p>

P272	誤	<p>【5】 解答「4」</p> <p>2 &amp; 3. 第6類の危険物は不燃性である。</p>
	正	<p>【5】 解答「4」</p> <p>2. <b>加熱等(衝撃・摩擦)により、発火や爆発を起こすことがある。</b></p> <p>3. 第6類の危険物は不燃性である。</p>

P275	誤	<p>【5】 解答「3」</p> <p>2. 加熱により水と酸素に分解する。水素を発生する、は誤り。</p> <p>4. アニリンC<sub>6</sub>H<sub>5</sub>NH<sub>2</sub>は可燃性の液体であるため、接触させない。</p>
	正	<p>【5】 解答「3」</p> <p><b>3.</b> 加熱により水と酸素に分解する。水素を発生する、は誤り。</p> <p>4. アニリンC<sub>6</sub>H<sub>5</sub>NH<sub>2</sub>は可燃性の液体であるため、接触させない。</p>

## 第二版

P269	誤	<p>【5】 過酸化水素の性状等について、次のうち正しいものはどれか。</p> <p>2. 加熱すると発火する。</p>
	正	<p>【5】 過酸化水素の性状等について、次のうち正しいものはどれか。</p> <p>2. <b>加熱しても発火のおそれはない。</b></p>

P272	誤	<p>【5】 解答「4」</p> <p>2 &amp; 3. 第6類の危険物は不燃性である。</p>
	正	<p>【5】 解答「4」</p> <p>2. <b>加熱等(衝撃・摩擦)により、発火や爆発を起こすことがある。</b></p> <p>3. 第6類の危険物は不燃性である。</p>